



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月31日

上場会社名 三井製糖株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2109 URL <http://www.mitsui-sugar.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 雑賀 大介
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 馬鳥 秀彰 TEL 03(3663)3111
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月7日 配当支払開始予定日 平成29年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	52,409	2.3	3,591	60.9	8,090	39.5	5,324	46.5
29年3月期第2四半期	51,232	3.8	2,231	△14.1	5,800	△7.3	3,633	4.5

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 5,871百万円 (74.8%) 29年3月期第2四半期 3,359百万円 (△7.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	199.38	—
29年3月期第2四半期	136.07	—

※当社は、平成28年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	125,536	87,816	64.1	3,011.97
29年3月期	121,549	83,682	63.1	2,872.96

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 80,428百万円 29年3月期 76,717百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	7.00	—	65.00	—
30年3月期	—	50.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

※当社は、平成28年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成29年3月期第2四半期末の1株当たり配当金につきましては、当該株式併合前の金額を記載し、平成29年3月期の年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合後の基準で換算した平成29年3月期の1株当たり年間配当額は100円となります。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	106,000	2.7	6,000	15.0	13,600	8.8	8,800	17.6	329.55

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	28,333,480株	29年3月期	28,333,480株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	1,630,555株	29年3月期	1,630,251株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	26,703,096株	29年3月期2Q	26,704,747株

（注）当社は、平成28年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調となり、個人消費も底堅く推移いたしました。海外経済の展望も概ね持ち直しの傾向にありますが、米国の政策動向や、北朝鮮情勢を始めとする地政学リスクの高まりなどにより、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは第6次中期経営計画「Mitsui Sugar Revolution Phase 3（三井製糖2022への道）」（2016年4月～2018年3月）の達成に向け、各施策の実行に鋭意取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績及びセグメントの概況は以下の通りであります。

(砂糖事業)

海外粗糖相場につきましては、期初は16セント後半でスタートしたのち、世界的な需給緩和観測などを受けて急落し、6月末には12セント半ばまで下落いたしました。その後13セント～15セントの範囲で揉み合う展開となりましたが、ブラジルの順調な圧搾状況などが伝えられると相場は緩やかに軟化し、13セント半ばで当第2四半期末を迎えました。以上のような相場動向の中、当社では適切な原料糖調達に努めてまいりました。

生産面では、産地毎の原料糖品質に合わせた適切な工程制御を行い、安定的な操業に努めましたが、燃料費の上昇を受け前年同期比で製造変動費が微増となりました。

販売面では、原料仕入れコストの下落に対応し、7月初旬より出荷価格の引き下げを実施いたしました。夏場の天候不順により飲料ユーザー向けが低調な荷動きとなったほか、量販店向けの販売減が響き、全体として販売量は前年同期を下回りました。

連結子会社では、北海道糖業(株)は販売量減少により減益となったものの、生和糖業(株)は生産量・販売量ともに前年同期を上回り好調に推移いたしました。

以上の結果、砂糖事業全体で、売上高41,670百万円、営業利益2,623百万円となりました。

期中の砂糖市況

国内市中相場（日本経済新聞掲載、東京上白大袋1kg当たり）

始値195円～196円 高値195円～196円 安値189円～190円 終値189円～190円

海外粗糖相場（ニューヨーク砂糖当限、1ポンド当たり）

始値 16.93セント 高値 17.18セント 安値 12.53セント 終値 13.54セント

(フードサイエンス事業)

パラチノース、パラチニットの販売はやや低調な動きとなりましたが、販売費及び一般管理費の減少もあり営業利益は前年同期を上回りました。

連結子会社では、(株)タイショーテクノで販売が順調に推移したほか、ニュートリー(株)は当期首に行った事業譲受により規模が拡大し、増収増益となりました。

以上の結果、フードサイエンス事業全体で、売上高9,791百万円、営業利益527百万円となりました。

なお、平成29年7月31日に開示いたしました、当社から(株)タイショーテクノへの食品添加物の生産集約につきましては、両者連携の上、順調に作業を進めております。

(不動産事業)

前期に岡山市で竣工した物流センターの賃貸並びにメガソーラー発電が安定的に稼働し、売上高947百万円、営業利益439百万円となりました。

以上の結果、全セグメントにおいて営業利益が前年同期を上回り、当第2四半期連結累計期間の売上高は52,409百万円（前年同期比2.3%増）、営業利益は3,591百万円（前年同期比60.9%増）となりました。

営業外損益においては、受取ロイヤリティー3,699百万円、持分法による投資利益791百万円を計上したことなどから、経常利益8,090百万円（前年同期比39.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益5,324百万円（前年同期比46.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

〔連結財政状態の変動状況〕

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比3,986百万円増加し125,536百万円となりました。連結貸借対照表の主要項目ごとの主な増減要因等は次の通りであります。

①流動資産

流動資産は、前連結会計年度末比3,301百万円増加し53,509百万円となりました。これは主として、現金及び預金の増加7,362百万円、原材料及び貯蔵品の増加1,944百万円等があった一方で、商品及び製品の減少5,109百万円等があったことによるものであります。

②固定資産

固定資産は、前連結会計年度末比685百万円増加し72,026百万円となりました。これは主として、建設仮勘定の増加461百万円、投資有価証券の増加896百万円等があった一方で、建物および構築物の減少284百万円、機械装置及び運搬具の減少134百万円、のれんの減少322百万円等があったことによるものであります。

③負債

負債は、前連結会計年度末比146百万円減少し37,720百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金の増加1,218百万円、未払法人税等の増加841百万円、未払金等その他流動負債の増加2,240百万円等があった一方で、借入金の減少4,476百万円等があったことによるものであります。

④純資産

純資産は、前連結会計年度末比4,133百万円増加し87,816百万円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益5,324百万円、剰余金の配当1,735百万円等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当上半期の連結業績は、想定以上に海外粗糖相場が軟調に推移したことや、連結子会社の生和糖業(株)やニュートリ一(株)に加え、持分法適用会社の業績も好調だったことから、期首予想に比較して増益となりました。下半期におきましては、例年年末年始より粗糖相場が不安定になることが多く予断を許しませんが、上半期の連結業績を踏まえ、平成30年3月期の業績予想につきまして、当初の予想(平成29年5月15日公表)を修正いたしました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,072	26,435
受取手形及び売掛金	8,447	9,741
商品及び製品	13,493	8,383
仕掛品	1,891	1,393
原材料及び貯蔵品	4,111	6,055
繰延税金資産	555	612
その他	2,671	922
貸倒引当金	△36	△36
流動資産合計	50,207	53,509
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	36,976	36,765
減価償却累計額	△22,483	△22,556
建物及び構築物(純額)	14,493	14,209
機械装置及び運搬具	76,484	76,547
減価償却累計額	△61,230	△61,427
機械装置及び運搬具(純額)	15,253	15,119
工具、器具及び備品	2,426	2,453
減価償却累計額	△2,035	△2,046
工具、器具及び備品(純額)	391	406
土地	18,436	18,436
リース資産	893	889
減価償却累計額	△310	△353
リース資産(純額)	582	536
建設仮勘定	97	559
有形固定資産合計	49,255	49,267
無形固定資産		
のれん	1,852	1,529
その他	761	685
無形固定資産合計	2,614	2,215
投資その他の資産		
投資有価証券	11,690	12,586
長期貸付金	24	27
退職給付に係る資産	550	692
繰延税金資産	690	658
その他	6,540	6,604
貸倒引当金	△24	△25
投資その他の資産合計	19,471	20,543
固定資産合計	71,341	72,026
資産合計	121,549	125,536

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,114	6,332
短期借入金	4,070	200
1年内返済予定の長期借入金	1,213	1,106
リース債務	93	122
未払費用	2,860	2,829
未払法人税等	1,686	2,528
役員賞与引当金	64	33
その他	2,586	4,827
流動負債合計	17,689	17,980
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	2,604	2,105
リース債務	517	439
繰延税金負債	1,757	1,937
役員退職慰労引当金	223	241
退職給付に係る負債	3,182	3,194
資産除去債務	408	395
その他	1,482	1,427
固定負債合計	20,176	19,739
負債合計	37,866	37,720
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,083	7,083
資本剰余金	1,291	1,291
利益剰余金	70,123	73,711
自己株式	△2,905	△2,906
株主資本合計	75,592	79,180
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	931	947
繰延ヘッジ損益	△1	7
為替換算調整勘定	59	127
退職給付に係る調整累計額	134	165
その他の包括利益累計額合計	1,124	1,248
非支配株主持分	6,965	7,387
純資産合計	83,682	87,816
負債純資産合計	121,549	125,536

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	51,232	52,409
売上原価	39,209	39,449
売上総利益	12,022	12,960
販売費及び一般管理費		
配送費	2,491	2,261
役員賞与引当金繰入額	26	33
退職給付費用	119	96
その他	7,153	6,978
販売費及び一般管理費合計	9,791	9,369
営業利益	2,231	3,591
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	132	98
受取ロイヤリティー	3,560	3,699
持分法による投資利益	64	791
雑収入	141	120
営業外収益合計	3,899	4,710
営業外費用		
支払利息	46	37
固定資産除却損	44	38
設備撤去費	72	103
雑損失	167	32
営業外費用合計	331	211
経常利益	5,800	8,090
特別利益		
投資有価証券売却益	—	73
補助金収入	8	—
負ののれん発生益	—	24
特別利益合計	8	97
特別損失		
減損損失	50	—
固定資産圧縮損	1	1
特別損失合計	51	1
税金等調整前四半期純利益	5,756	8,186
法人税、住民税及び事業税	1,744	2,397
法人税等調整額	54	64
法人税等合計	1,799	2,462
四半期純利益	3,957	5,723
非支配株主に帰属する四半期純利益	323	399
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,633	5,324

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	3,957	5,723
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23	17
繰延ヘッジ損益	△0	15
退職給付に係る調整額	△12	44
持分法適用会社に対する持分相当額	△608	69
その他の包括利益合計	△598	147
四半期包括利益	3,359	5,871
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,056	5,447
非支配株主に係る四半期包括利益	302	423

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	砂糖事業	フード サイエンス 事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	43,025	7,452	754	51,232	—	51,232
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16	63	20	100	△100	—
計	43,042	7,515	774	51,332	△100	51,232
セグメント利益	1,774	183	273	2,231	—	2,231

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	砂糖事業	フード サイエンス 事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	41,670	9,791	947	52,409	—	52,409
セグメント間の内部 売上高又は振替高	33	60	20	113	△113	—
計	41,703	9,851	968	52,523	△113	52,409
セグメント利益	2,623	527	439	3,591	—	3,591

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。